

# 研究名：小児における視床下部・下垂体機能の評価における GHRP-2 負荷試験の有用性の検証のための後方視的研究

## 1. 研究の目的

GHRP2(growth hormone releasing peptide-2)は、下垂体から GH(成長ホルモン)を分泌させる合成ペプチドです。本邦ではすでに GH 分泌刺激試験で広く用いられていて、安全性は確認されています。60 分という他の負荷試験より短時間で評価でき、副作用をあまり認めないことから、患者さんに負担が少なく、小児の方にも使用しやすいのが特徴です。また、GHRP2 は副腎皮質ホルモンの分泌も促進させることがわかっており、成人患者さんでは、副腎機能評価目的の GHRP2 負荷試験の有用性の報告が散見されますが、小児ではその有用性はまだわかっていません。今回、成長ホルモン分泌機能評価目的に GHRP2 負荷試験を行った患者さん、副腎機能評価目的に GHRP2 負荷試験を行った患者さんの検査結果と、他の負荷試験での検査結果を比較し、GHRP2 負荷試験の有用性を検討します。

## 2. 研究の方法

- ① 研究対象：当センターにて 2014 年 1 月～2025 年 3 月までに GHRP2 負荷試験と、CRH 負荷試験、迅速 ACTH 負荷試験のいずれかを受けられた方
- ② 研究期間：倫理審査委員会承認後～2027 年 3 月
- ③ 利用又は提供を開始する予定日：西暦 2025 年 5 月 1 日
- ④ 研究方法：診療録を用いた後方視的研究

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

病歴、検査データ、副作用等の発生状況 等

## 4. 個人情報の取り扱い

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報は、氏名およびカルテ番号が含まれます。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの検体や情報は、個人情報をすべて削除し、どなたのものか一切わからない形で使用します。
- 3) 患者さんの個人情報と、個人情報を削除した検体や情報を結びつける資料は、本研究の研究責任者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合にのみ参照します。また研究計画書に記載された所定の時点で破棄します。

## 5. 研究実施機関

国立成育医療研究センター 研究責任者 杉浦愛子

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

ただし、申出いただいた時点で研究結果が論文などで公表されていた場合等は、データが削除できないことがあります。

○照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 内分泌・代謝科 杉浦愛子（担当者氏名）

住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話：03-3416-0181（内線：7041）